

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成30年11月6日(火)

学 級 2年3組

男子18名 女子15名 計33名

授業者 教諭 城内 千賀子

1 単元名 論理を捉えて(光村 国語2)

教材名 話し合って考えを広げよう ～パネルディスカッションをする～

2 単元でつきたい力

社会生活で求められる表現は、多くの場合、自らの立場と、そのような立場に立つ根拠を明確にした表現である。この単元では、「思考力、判断力、表現力」の言語活動を通して、根拠の働きに注目して、論理的な表現の在り方について学ぶことを目的としている。

論理的な表現では、一方的に自分の意見を述べるのではなく、他者の立場も尊重することで、多様な考え方に触れることができる。また、立場の違う考え方からの反論を予想することで、論理に深みが増し、説得力も高まる。根拠の確かさとともに、そうした視点からも、論理の展開の仕方を確認させたい。

これを受けて、本単元では、生徒に身に付けさせたい力を次のように設定した。

相手の立場を尊重したり、反論を予想したりする力

立場と根拠を明確にし、論理的に表現する力

3 単元の指導にあたって

(1) 生徒感

本学級の生徒は、ペア活動やグループ活動に積極的に参加することができる。しかし、人前で自分の考えをまとめて話すことに抵抗を感じる生徒が多く、自分の考えをもっていても、考えを伝えるための適切な言葉を選ぶ力や、根拠を明確にしなが論理的に表現する力が不足している。また、新入学生学習状況調査の結果から、本校の2年生は、文章を理解するために必要な語彙力がかなり身につけておらず、文学的文章では、場面の描写と登場人物の様子や心情を読み取ったりすること、説明的文章では、文章の要旨や構成をとらえることに課題がみられる。そこで、1学期から、語彙力を高めるために「ことばノート」の作成に取り組んでみたり、語彙力とともに論理的な表現力を身につけるために新聞記事を読ませてみたりと、教科書以外の言葉にも触れる機会を多くもたせている。

(2) 教材感

パネルディスカッションは、多様な見方や考え方ができるテーマについて、見方や考え方を広げたり深めたりする話し合いの形態である。したがって、一つの結論は求めず立場の違いをお互いに認め合うことが大切になってくる。本教材は、日本の魅力を海外からの旅行客に紹介することを通して、改めて日本の良さについて考えるという内容的価値を持つものである。さまざまな観点から日本を見つめ直すことによって特徴が浮き彫りになり、今まで見過ごしていた日本の魅力を発見することにつながると思う。

(3) 指導感

指導にあたっては、お互いの発言を比較・検討しながら、自分や集団の考えを広げ深めていくために話し合いを行うということを認識させ、それぞれの役割ごとに大事になってくるポイントがあることを指導したい。パネリストの場合は、立場を明確にすることやその立場をしっかりと支える根拠を持つこと。また、フロアの場合は、パネリストどうしの意見の共通点や相違点を聞き分け、自分の考えと比べながら見方や考え方を広げたり深めたりすること。司会者の場合は、お互いの意見の長所や問題点を考え、整理しながら進行すること。これらのことを指導していく。

4 単元の指導目標

- (1) 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
- (2) 目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討することができる。
- (3) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめることができる。
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに，言語文化を大切にし，思いや考えを伝え合おうとすることができる。

5 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力，判断力，表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 説得力のある話をするために，意見と根拠の関係について理解している。</p> <p>【(2) 情報の扱いに関する事項情報と情報との関係 ア】</p>	<p>① 社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。</p> <p>【A 話すこと・聞くこと ア】</p> <p>② 相手の立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。</p> <p>【A 話すこと・聞くこと オ】</p>	<p>① 目的や場面に応じ，立場や考えの違いを踏まえて話したり，考えを比べながら聞いたり，相手の立場を尊重して話し合ったりしている。</p>

6 単元の指導計画

	学 習 活 動	評価規準
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標と見通しを持つ。 ・パネルディスカッションの目的と方法を理解する。 ・話し合いのテーマを決め、テーマに対するグループの立場を整理する。 	ウ①
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや新聞記事などを使って必要な情報を集める。 	イ①
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報をもとに、自分たちの意見やそれを支える説得力のある根拠を考える。 	ア① イ①
第4時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループから出されると予想される反論とその対策について話し合う。 ・自分たちの意見の問題点を見直す。 	ア① イ①
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションの具体的なイメージを持つ。 ・司会者、パネリスト等の役割を確認し、進行計画を立てる。 ・本番を想定し、パネリストと司会者で打ち合わせを行う。 	イ②
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションを行う。 ・質問や反論などができるように要点をメモする。 ・話し合いの進行、自分の役割について振り返り、次への課題を見つける。 	イ① ウ①

7 本時の指導 (4/6)

(1) 本時の目標

○根拠を明確にし、異なる立場や考えを想定しながら、集めた材料を整理し伝え合う内容を検討することができる。

(2) 研究主題とのかかわり

主体的学びについては、見通しとふりかえりを生徒自身に持たせ、自ら学ぶ意欲を育てていく。また、対話的で深い学びについては、話し合い活動で自分の考えを表現し、対話を通して共に高め合わせることによって、生徒に成就感や所属感を持たせていく。

(3) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準	評価の方法
ア知識及び技能	① 説得力のある話をするために、意見と根拠の関係について理解している。	発言・観察
イ思考力、判断力、表現力	① 社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	ワークシート 発言・観察

(4) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ●評価
導入 5分	1 前時の確認 2 課題の確認 自分たちの意見のどこが弱いのか。他のグループからの反論を予想しながら対策を考えよう。	
展開 35分	3 前時に考えた意見をもとに、反論を予想する。 ・個人で考える。 ・3～4人グループで考える。 4 全体で意見の交流をする。	○前時に考えた意見を確認させる。 ○反論を予想し、問題解決の見通しを持たせる。 ○活動時間の指示をする。 ○困っているグループに対して助言をする。 ●説得力のある話をするために、意見と根拠の関係について理解している。 【知識及び技能】 ●社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【思考力、判断力、表現力】 ○他者からの助言を引き出す。
終末 10分	5 まとめ 6 振り返り	○グループ内で最終的な考えを共有させる。 ○自分の言葉でまとめさせる。